

ゲートキーパー養成研修【兵庫県加古川市】

(実施主体) 兵庫県加古川市

(基金事業メニュー) 人材養成事業

(実施期間) 平成 23 年度

(実績額) 平成 23 年度 1,861 千円

【事業の背景・必要性・目的】

加古川市における平成 20 年～22 年の自殺死亡率（自殺者数）の平均は 23.6（63 人）で、兵庫県平均の 22.2（1,241 人）と比較して高く、平成 22 年は 28.1（75 人）であり、過去 10 年のうち最も多い状況となっている。自殺者の傾向としては、男性が女性の約 2 倍、年齢階層別では 40 歳代から 70 歳代の中高年に多く、職業別では約 7 割が無職者であった。

このような現状を踏まえ、家庭や地域、職場など様々な所において、周りにいる人の変化に早期に「気づき」、適切な関係機関に「つなぐ」、そばで「見守る」などの対応ができる人材（ゲートキーパー）が必要であると考え、ゲートキーパー養成研修を実施することになった。

(※自殺死亡率・自殺者数は人口動態統計による)

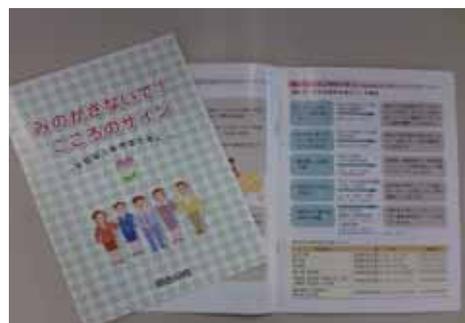
【事業の内容】

(1) 対象者：民生委員（9 回 362 名）

テーマ：「こころに不安を持つ方への対応について～地域での見守り～」

講師：いのちの電話職員

内容：市内 9 地区ごとの民生委員の定例会の場を活用して少人数で実施。自殺の現状、ゲートキーパーの役割について講義した後、加古川市で独自に作成した市内相談機関一覧を掲載した冊子「みのがさないで！こころのサイン」を配布し、相談窓口について紹介した。



市内相談機関一覧を掲載した冊子

(2) 対象者：介護支援専門員（1 回 64 名）

テーマ：「自殺予防のためのゲートキーパー」

講師：臨床心理士及び保健師

内容：高齢者や介護者にみられやすい自殺の危険因子、自殺のハイリスク状態にある人への対応方法について講義を行い、自殺のサインに気づいたときに、しっかり傾聴して連携機関へつなぎ、見守りを行えるよう、事例検討を実施した。

また、県内の相談機関一覧を掲載した冊子を配布し、相談窓口について紹介した。

(3) 対象者：公立・法人の保育士（1 回 59 名）

テーマ：「個と場の原理について～効果的な相談手法～」

講師：精神科医

内容：人間の発達とコミュニケーションのとり方、相談対応の方法について講義を行った。

(4) 対象者：市職員（14回 255名）

テーマ：「職場での見守り・気づき」

講師：臨床心理士

内容：庁内の各部署と連携を図り、各職場の人権研修の機会を活用して実施した。

うつ病に関するDVDを視聴し、疾患への理解を深めるとともに、変化に気づくポイントや対応の方法についてグループワークを実施した。

【事業実施に当たっての運営体制等】

健康課が事務局となり、各対象者に研修開催について提案を行った。その後、企画・運営については、各連携機関や庁内関係部署と協働して進めていった。

【事業の成果、工夫をした点、その他特筆すべき点】

民生委員を対象とした研修では、各地区に分けて実施することで、参加者が気軽に意見を出しあうことができ、自分の担当地区の事例について講師からアドバイスを得られたことなどから、研修後のアンケートでは95%以上の参加者が研修会に参加してよかったと回答している。また、「相談窓口について知っていますか」という問いに対し、約7割が今回はじめて知ったと回答しており、相談窓口を具体的に伝える良い機会にもなった。

介護支援専門員や保育士を対象とした研修では、精神科医や臨床心理士を講師にすることで、より専門性の高い研修内容となるようにした。自殺の危険因子や対応方法を学び、グループワークや事例検討を行う中で、参加者からは、対応の方法を具体的に学べた、連携機関へつないで終了ではなく、支援し続けることが重要であると改めて感じたなどの感想が聞かれた。

市職員を対象にした研修のアンケートでは、多くの参加者が、「うつ病」に関する研修を受講したことはあるが、対応方法や相談機関について具体的に知ったのは今回が初めてであると回答している。研修会を少人数で実施し、グループワークを中心に研修を進めたことで、「自分」「家庭」「職場」「行政」それぞれの立場での「できること」について積極的に意見交換し、「自殺」について、以前は身近なこととしてとらえていなかったが、具体的に自殺を予防することの意義やそのための対応方法について考える機会になったという意見が多く聞かれた。



ゲートキーパー養成研修の様子（市職員対象）

平成24年度は、さらに研修の場を広げ、地域の様々な団体等にも研修の参加を呼び掛けるとともに、全庁的にゲートキーパー養成研修を展開していくことで、周りの気づきが「自殺予防」につながるという認識を皆が持ち、相談窓口が身近なものとして機能するよう、市全体として取組を進めていきたい。

早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する取組

(問合せ先) 兵庫県加古川市福祉部健康支援局健康課
TEL:079-427-9215
E-mail:kenkou@city.kakogawa.hyogo.jp
URL : <http://www.city.kakogawa.lg.jp/>